

防災対策の充実を求める請願書


提出 令和2年8月24日

志摩市議会議長 濱口 三代和 様


紹介議員 小河光昭

提出者

〒517-0404
志摩市浜島町浜島1112
浜島小学校 PTA
志摩市PTA連合会 会長

柴原貞治 


〒517-0209
志摩市磯部町恵利原1300
磯部中学校 校長
志摩市中学校長会 会長

下村復之 

〒517-0505
志摩市阿児町甲賀1518
東海小学校 校長
志摩市小学校長会 会長

坂下 史 

〒517-0501
志摩市阿児町鶴方3179
三重県教職員組合志摩支部
支部長

石原 速 



請願の趣旨

子どもたちの安心・安全を確保するため、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実をはかるよう採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。

請願の理由

近年、毎年のように豪雨災害が発生し、巨大地震発生時期が迫っていると言われていています。学校や地域では有事に備え、避難訓練等を行い防災対策にとりくんでいます。県内において、子どもたちが通う9割以上の公立学校が避難所指定を受けており、有事の際には地域の避難所となることが予想されます。

2020年4月1日現在、志摩市では、津波避難所として13校中10校（小学校6校[うち1校は福祉避難所]、中学校4校）が、風水害避難所としては13校すべてが指定避難所となっています。避難所における防災関係施設・設備等の設置率では、対策が充分なものもある中、さらに昨年度、緊急地震速報の受信端末が設置され（100%）、ガラス飛散防止の達成率は85%から90%に上がっています。しかし、自家発電設備や屋内運動場の多目的トイレなど不十分なものもあり、早急な対応が求められます。また、13校中3校（小学校1校、中学校2校）の学校が津波浸水想定区域内に立地している現状があります。

今年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。政府は、2020年4月、新型コロナウイルス感染者は、避難所以外に滞在させるよう通知をおこないました。しかし、施設やスペース、資材、人材が足りない自治体も少なくなく、志摩市も同様だと考えます。

災害や感染症は、いつ発生するかわかりません。避難所を利用する方々の状況や配慮すべき内容も様々です。政府の責任において、安心して被災者が避難できるように備えるべきです。過去の災害に学び、最善の備えを整えていくという考えのもと、防災に関わる施策がさらに充実されることを強く望むところです。

以上のような理由から、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実をすすめることを強く切望するものです。